



～ 秋の昆虫たち～



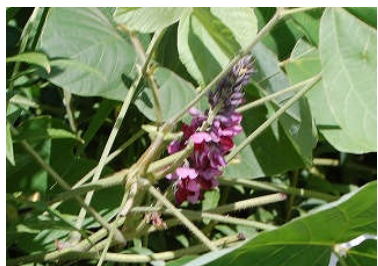
まだまだ暑い日が続いていますが、彩湖の周りでは、そろそろセミの声も少なくなってきました。草原では、大きく成長したショウリヨウバッタやトノサマバッタが跳ね回り、コオロギやキリギリスの仲間たちの鳴き声が日に日に大きくなってきました。確実に秋の足音が近づいています。ところで、バッタの仲間には、同じ種類であっても色が違う個体があるのをご存じですか？例えばショウリヨウバッタやトノサマバッタには、緑色型、褐色型(茶色)、混合型などのタイプがあります。また、同じ種類のバッタでも羽の長さが違い、長距離を飛ぶことのできるものもいるそうです。それぞれすむ場所によって周りの環境に順応するため、少しずつ変化してきたのでしょうか。

12日には、センターの講座「昆虫ウォッチング・秋」が行われます。こんなバッタの違いを観察してみるのもおもしろいかもしれません。まだ、参加者を募集しています。ぜひ、親子で参加してみませんか。(T)



季節の生き物

葛(クズ) マメ科



秋の七草の一つです。茎はつる状で、ひと夏で10mも伸び、周りの木々をおおってしまいます。4月の終わりごろ新芽が始め、7月になると学習センターに入る道路わきの草地や、センター北側のヨシ原の一部はクズの葉でおおわれてしまいます。葉は、大人の手のひらくらいの大きさで、3枚1組で茎から伸び、8月から9月には紅紫色の花が咲き、目を楽しませてくれます。

根には多量のでんぷんが含まれており、葛餅(くずもち)等の原料になる葛粉(くずこ)が採れます。また、熱を冷ます効果のある葛根湯(かつこんとう)などの薬用にも使われます。新芽の天ぷらは非常に美味です。

「くず」という名前は、大和の国(奈良県)の国栖(くず)というところが葛粉の産地であったことからつけられたそうです。(I)



講座案内 (9・10月)



9月12日(日) **自然観察会** ※雨天実施

「昆虫ウォッチング・秋」

バッタやカマキリは、夏のころとくらべると大きくなっているでしょうか？秋の昆虫の様子を観察してみませんか。講師を招いての観察会です。

- ◇対象：一般・親子・小学生（3年生以下は保護者同伴）
- ◇定員：40名
- ◇時間：10:00～12:00
- ◇持ち物：動きやすい服装、飲み物、虫捕り網、虫かご(貸出可)
- ◇参加費：100円(保険代)



※まだ残暑が厳しいです。暑さ対策をしっかりとってお越してください。

10月3日(日) **自然観察入門** ※雨天中止

「彩湖の秋をさがそう」

彩湖で秋の自然さがしをしませんか？池沿いや草むら、林の周辺を歩きながら、植物や昆虫、野鳥などのちょっとした自然をセンタースタッフと観察しましょう。

- ◇対象：一般・親子など
- ◇定員：20名
- ◇時間：9:30～12:30 ※他の講座と時間が異なります。
- ◇持ち物：観察道具、飲み物、雨具、歩きやすい服装
- ◇参加費：100円(保険代)



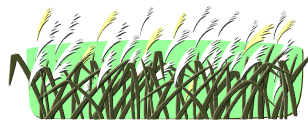
※舗装されていない道も含め、2時間で4km程度歩きます。

10月23日(土) **自然写真撮影会** ※雨天中止

「彩湖の自然を撮ろう ～風景編～」

秋の自然のたたずまいを見せる彩湖周辺の風景をカメラの「目」で写し撮ってみませんか。初心者の方、大歓迎です。

- ◇対象：一般(中学生以上)
- ◇定員：20名
- ◇時間：10:00～12:00
- ◇持ち物：デジタルカメラ、三脚(お持ちの方)
- ◇参加費：100円(保険代)



10月24日(日) **親子ふれあい教室** ※雨天実施

「オギのミミズクづくり」

センター周辺に生えるオギの穂で可愛いミミズクづくりに挑戦しませんか？ちょっと難しいので、親子で一緒に協力して作りましょう。

- ◇対象：小学生以上の親子
- ◇定員：30名
- ◇時間：10:00～12:00
- ◇持ち物：軍手、園芸用ハサミ、作品を持ち帰る袋(ビニール袋等)
- ◇参加費：100円(保険代)



☆申込方法：彩湖自然学習センターへ電話申込みか直接ご来館ください。(3階事務室)

なお、申込みは、講座の1か月前から受け付けています。Tel:048-422-9991

※詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html>)をご覧ください。

